

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【保健体育】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	<p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「保健編」と「体育編」の章で構成されており、小單元ごとに学習の進め方や課題が明示され、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」という内容で、生徒が見通しをもって学習することができるような配列の工夫がなされている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「課題の解決」では、問題解決的な学習を展開できるよう発問を設定し、情報の収集や資料を基に考えたり、話し合ったりする活動により理解を深める工夫が見られる。また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「活用する」「広げる」では、習得した知識・技能の活用や、学習したことを自他に当てはめ、再考するなど実践力の基礎づくりとなるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性を高めるために、1単位時間の内容を見開き2ページに収め、統一された学習の流れのレイアウトとしている。特筆すべき点として、「キーワード」を1単位時間ごと及び巻末に掲載するとともに、技能のページを開設することで知識・技能の習得を促す工夫がされている。</p> <p>(4) 日常生活をよりよくするための基本的な知識を確実に習得するために、独自のコンテンツの動画などで意欲を高めて学習できたり、各章末の「学習のまとめ」のコーナーで、「確認の問題」を設定し、知識の習得状況を確認できたりするような工夫が見られる。また、習得した知識・技能を、「学習のまとめ」の「日常生活に生かそう」で、より深く考え、自分の生活に当てはめたり、更に調べたりすることができるような工夫が見られる。</p>	<p>目次 口絵 9</p> <p>P10～11</p> <p>P10～11</p> <p>P10～11</p> <p>P10、180～184 P42</p> <p>P1 P81 P157</p> <p>P18</p>
4 大日本図書	<p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「体育編」と「保健編」の章で構成されており、小單元ごとに学習の進め方や学習のねらいが明示され、「つかもう」「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」「活用して深めよう」という内容で、生徒が見通しをもって学習することができるような配列の工夫がなされている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、知識を深める資料を本文と分けて掲載することで資料活用の幅を広げたり、各小單元において「キーワード」で学習内容を振り返ったりするなど理解を深める工夫が見られる。また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力</p>	<p>目次 口絵 P15～17</p> <p>P20～21</p> <p>P27</p>

	<p>等」を育成するために「学びを活かそう」のページが設定してあり、習得した知識・技能を活用して表現するなど、実践力の基礎づくりとなるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性を高めるために、1 単位時間の内容を見開き 2 ページに収め、本文と資料を区切って掲載している。特筆すべき点として、ユニバーサルデザインに対応し書体や色づかいに配慮する等、すべての生徒に対して分かりやすいよう工夫がされている。</p> <p>(4) 日常生活をよりよくするための基本的な知識を確実に習得するために、独自のコンテンツでは「まとめの問題」を用意し、学んだ知識を確実に定着させることができるようにしたり、各小単元・各章末では重要語句の再確認ができたりするような工夫が見られる。また、習得した知識・技能を、家庭や地域において、活用できるように、該当箇所「家」・「地域」のマークを設け、体験活動の充実を図ることができるような工夫が見られる。</p>	<p>P20～21</p> <p>P125</p> <p>P14 口絵 P16 P146</p> <p>P25 P96</p>
50 大修館書店	<p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「体育理論」と「保健」の章で構成されており、小単元ごとに学習の進め方や課題が明示され、「課題をつかむ」「身につける・考える」「学習のまとめ」という内容で、生徒が見通しをもって学習することができるような配列の工夫がなされている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、覚えておきたい専門用語を「キーワード」として明示してあったり、鮮明な写真やイラストで解説してあったりするなど、理解を深める工夫が見られる。また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、深い思考を促す「関連」のコーナーや学びをもとに思考を深める「学習のまとめ」が設定してあるなど、実践力の基礎づくりとなるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性を高めるために、1 単位時間の内容を見開き 2 ページに収め、時間の見通しをもって学習できる分量を掲載している。特筆すべき点として、ユニバーサルデザインに対応し、書体や色づかい、線の太さに配慮するとともに、大判の資料を充実させるよう工夫がされている。</p> <p>(4) 日常生活をよりよくするための基本的な知識を確実に習得するために、独自のコンテンツの活用をとおして、更に知識を深めたり、「章のまとめ」の「知識・技能の確認問題」で、これまで学習した知識の習得状況を確認できた</p>	<p>目次</p> <p>口絵 9 ～ P1</p> <p>P22～23</p> <p>P22～23</p> <p>P31</p> <p>P20～21</p> <p>P125</p> <p>P1 P112</p>

	<p>りするような工夫が見られる。また、習得した知識・技能を、「体育の窓」、「保健の窓」、各小単元末の「学習のまとめ」で、実生活に生かして考えることができるような工夫が見られる。</p>	<p>P91 P129</p>
224 学研教育みらい	<p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「体育編」と「保健編」の章で構成されており、小単元ごとに学習の進め方や課題が明示され、「学習の目標」「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」という内容で、生徒が見通しをもって学習できる配列の工夫がなされている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「キーワード」で学習する内容を明確にしたり、学びをもとに知識を身に付けることができるような「実習」のコーナーを設けたりするなど、理解を深める工夫が見られる。また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習のまとめとして「まとめる・深める」が設定しており、目標を立てたり、人に伝えたりするなど、実践力の基礎づくりとなるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性を高めるために、1 単位時間の内容を見開き 2 ページに収め、本文と資料のレイアウトを統一している。特筆すべき点として、ユニバーサルデザインを基本に、インクルーシブ教育の実現を目指し、資料・写真を充実させることでよりよい学びを支える工夫がされている。</p> <p>(4) 日常生活をよりよくするための基本的な知識を確実に習得するために、独自のコンテンツによって学習したことを確認したり、各小単元全ての項目に「まとめる・深める」を設け、習得した知識をまとめて深めたりするような工夫が見られる。また、習得した知識・技能を、章末の「章のまとめ」の「確かめよう」で学んだ知識を確認したり、「生かそう」で、実生活に生かして考えたりするような工夫が見られる。</p>	<p>もくじ P10 P32～33 P64 P32～33 P32～33 P32～33 P10、P125 P162 P41</p>